

授業科目名 <英訳>		医療統計学（コア）【領域2】 Fundamentals of Biostatistics				担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 佐藤 俊哉			
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2018・ 前期	曜時限	火2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
[授業の概要・目的]											
医療統計学は社会健康医学の実務・研究に必須であることは広く認識されています。が、医療統計の教科書には怪しげな数式ばかりでてきてとっつきにくく、一部の愛好家以外には敬遠されています。 しかし、しかしです、本当は医療統計学っておもしろいのです。 「医療統計学はおもしろい」ということをみなさんに伝えたいと、医療統計学では、数学的、技術的な問題に立ち入ることなく、平易なことばで医療統計学の考え方を解説しています。 予習は必要ありません。ともかく授業にきて、話を聞き、スライドをみて、一緒に考えてください。講義終了時にスライド資料を配りますので、ノートなんかとらなくても結構です。 その代わり、必ず復習をしてください。講義中にはわかった気分になりますが、それが自分のものとなるためには、自分の中で何度も何度も確認する必要があります。毎回、講義の始めに前回のおさらいをしますので、復習してわからなかったことはそこでどんどん質問してください。技術的な内容については、午後の医療統計学実習で補います。 【パワーポイントスライドによる講義形式】											
[到達目標]											
・医療統計アレルギーの改善 ・因果関係とコントロール（対照）について理解を深める ・疫学研究、臨床試験の代表的なデザインを学ぶ ・医療統計の基礎的な考え方を自分なりに説明できる											
[授業計画と内容]											
第1回	4月10日	コントロールの重要性									
第2回	4月17日	ピロリ菌と胃がん									
第3回	4月24日	疫学研究デザイン概論									
第4回	5月1日	骨粗鬆症治療薬市販後臨床試験									
第5回	5月8日	臨床試験デザイン概論									
第6回	5月15日	曝露効果、治療効果の指標									
第7回	5月22日	統計的仮説検定の考え方									
第8回	5月29日	検定と信頼区間の関係									
第9回	6月5日	研究に必要なサンプルサイズ									
第10回	6月12日	続 検定の考え方									
第11回	6月19日	コホート研究の妥当性									
第12回	6月26日	ケース・コントロール研究の妥当性									
第13回	7月3日	新しい疫学研究デザイン									
	7月10日	休講									
第14回	7月17日	交絡とはなにか									
[履修要件]											
・人間健康科学系専攻の学生さんの受け入れはしていません ・医科学専攻、医学博士課程の受講希望者は事前に必ずメールで連絡してください ・受講者は単位不要でも必ずミニテストを受け、レポートを提出してください											
-----医療統計学（コア）【領域2】(2)へ続く↓↓↓											

医療統計学 (コア) 【領域2】(2)

・医療統計学を履修していないと後期「交絡調整の方法」は履修できません

【成績評価の方法・観点及び達成度】

ミニテスト(30%)とレポート(70%)

- ・6月末に一度ミニテストを実施
- ・複数のテーマ(7月はじめに提示します)から一つを選び、指定された関連文献をレビューして自分の意見をレポートにまとめる

【教科書】

講義終了後にスライド資料を配布します。

【参考書等】

(参考書)

佐藤俊哉『宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ』(岩波科学ライブラリー114) ISBN:978-4-00-007454-7

佐藤俊哉『宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻』(岩波科学ライブラリー194) ISBN:978-4-00-029594-9

椿広計、藤田利治、佐藤俊哉『これからの臨床試験』(朝倉書店) ISBN:978-4-254-32185-6

ロスマン, KJ『ロスマンの疫学, 第2版』(篠原出版新社) ISBN:978-4-8841-2372-7

(関連URL)

<http://www.kbs.med.kyoto-u.ac.jp/>(医療統計ホームページ)

【授業外学習(予習・復習)等】

前回の復習を忘れずに。

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。